

精神保健医療福祉の改善を求める 国会請願署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

公益社団法人兵庫県精神福祉家族会連合会

請願趣旨

兵庫県では、神出病院にて6人もの看護師による患者虐待が発覚し、現在、裁判が進められています。また、県立精神科病院であるこころの医療センターにおいても同様の事件が発生しました。これは最早、個々の問題ではなく、全ての精神科病院の問題です。日本は、2014年に障害者権利条約を批准しているにも拘わらず、精神科病院は一般病院に比べて低い医療費、きわめて少ない医療スタッフ数に抑えられており、世界に類を見ない長期に渡る社会的入院や隔離・身体拘束による人権侵害が発生しています。全ての人の人権が尊重され、患者・利用者本位の精神保健医療福祉の改革が必要です。誰もが、地域社会の中でその一員として安心して暮らし続けられるよう、以下の項目を要請します。

記

請願項目

1. 精神疾患患者に対する身体拘束や隔離を原則廃止し、早期回復・社会復帰に向けた良質な医療を提供できるよう、精神科専門職の配置人員を引き上げるとともに、一般病院より低い人員配置（医師は1/3、看護師は2/3）を認めている精神科差別の『精神科特例』を廃止すること。
2. 精神疾患患者が地域で安心して生活できるように、地域住民・行政・福祉・医療等が連携して包括的な支援を行う体制を拡充し、退院後も継続した支援が受けられるよう整備するとともに、差別・偏見をなくすための啓発を進め、施策には当事者の声を反映すること。また、認知症患者が地域で暮らせる基盤整備を抜本的に強化して精神科病院への長期収容を無くすこと。
3. 入院中心から地域への政策転換を進める移行期において、精神科病院に対する財政支援や精神科病院の労働者の雇用保障、教育・研修等の措置を講じること。

氏名(「〃」「〃」や省略は不可)	住所(「〃」「〃」や省略は不可)

*この署名は、国会に提出する以外使用しません。

取扱団体：公益社団法人兵庫県精神福祉家族会連合会
兵庫県神戸市中央区坂口通2丁目1-1-6F

通称「ひょうかれん」

Tel 078-891-3871

誰もが安心して地域で暮らせる

精神保健医療福祉の充実を

政府は、1958年に「精神科特例」を定め、医師は一般病床の1/3、看護師は2/3と少ない人員配置を認め、民間の精神科病院建設を推進しました。60年前の精神科特例は現在も廃止されていません。入院患者の平均日当円(病院収入)は一般病棟の約1/3であり、精神科病院は少ない人員、少ない医療費で、入院患者を増やして病床稼働率を高めることが主眼となり、「入院中心から地域生活中心へ」の転換が進まない要因になっています。

日当円(患者1人1日当たりの平均診療収入)

	入院平均日当円
一般病院	44,360円
精神科病院	13,116円(一般病棟の約30%)

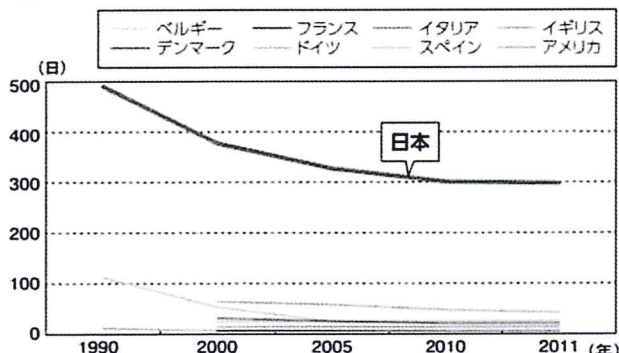
(社会医療診療行為別統計)2015年

100床当たりの職員数

	職員総数	医師	薬剤師	看護師・准看護師
一般病院	142人	15人	3人	62人
精神科病院	68人 (48%)	4人 (26%)	1人 (33%)	33人 (53%)

(病院報告)2014年

■ 精神病床の平均在院日数推移の国際比較



※各国により定義が異なる

資料: OECD Health Data 2012
注)日本のデータは病院報告より

日本の平均在院日数は、284.7日と先進諸国の18日前後に比べて異常に長く、約7万人は10年以上の入院となっています。また、認知症患者の入院や急性期病棟の増加に伴って、隔離室使用と身体拘束が増加し、人間としての尊厳を奪いつつあります。患者の視点に立った医療・看護ができる人員体制が必要です。

保護室隔離患者と身体拘束患者数の推移

